

小郡市こどもの権利条例（案）

（目的）

第1条 この条例は、日本国憲法および児童の権利に関する条約の考えをもとに、こどもの権利を大切に守っていくための基本となる考えを定め、みんなで小郡市のこどもの健やかな育ちを支えていくことを目的とします。

（言葉の意味）

第2条 この条例で使う言葉の意味は、それぞれ次のとおりです。

- （1） こどもとは、市内に住んでいる人、市内で学んでいる人、市内で働いている人、市内で活動している人で心とからだの成長の途中にある人をいいます。また、これらの人と同じく、権利を認めることがふさわしい人も含みます。
- （2） 保護者とは、こどもの親や親の代わりにそのこどもを育てる人をいいます。
- （3） 市民等とは、市内に住んでいた、市内で学んでいた、市内で働いていた、市内で活動したりしている人や団体をいいます。
- （4） 学校等関係者とは、市内にある学校、保育所、認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブ、子育て支援センターなど日頃からこどもの育ちに関わる人をいいます。

（基本となる考え方）

第3条 こどもは、生まれた時から一人の人間として権利を持っており、生活のあらゆる場面で、その権利が大切に守られます。

2 おとなは、こどもが健やかに育つために、こどもの声に耳をかたむけ、こどもにとって

もっと
最もよいことを第一に^{だいいち} 考え^{かんが}、行動^{こうどう}します。

3 こどもは、自分の権利^{けんり}が大切に^{たいせつ}されるのと同じように、自分以外^{おな}の人の権利^{けんり}も大切に^{たいせつ}します。

あんしん い けんり
(安心して生きる権利)

だい じょう
第4条 こどもは、次のとおり「安心して生きる権利^{あんしん い けんり}」があります。

- (1) いのち たいせつ あいじょう たいせつ そだ
命^{いのち}が大切に^{たいせつ}され、愛情^{あいじょう}をもって大切に^{たいせつ}育て^{そだ}られること。
- (2) けんこう せいかつ てきせつ いりよう う
健康^{けんこう}な生活^{せいかつ}ができ、適切^{てきせつ}な医療^{いりよう}が受け^うられること。
- (3) しゃかいてきかんきょう せいべつ こくせき しゅうきょう せい かた しょう びょうき
社会的環境^{しゃかいてきかんきょう}、性別^{せいべつ}、国籍^{こくせき}、宗教^{しゅうきょう}、性^{せい}のあり方^{かた}、障がい^{しょう}や病気^{びょうき}のあるなしなど
により差別^{さべつ}をされないこと。
- (4) ぼうげん ぼうりよく ぎゃくたい たいばつ なかま う
暴言^{ぼうげん}、暴力^{ぼうりよく}、虐待^{ぎゃくたい}、体罰^{たいばつ}、いじめ、仲間^{なかま}はずれを受け^うけないこと。

まも けんり
(守られる権利)

だい じょう
第5条 こどもには、次のとおり「守られる権利^{まも けんり}」があります。

- (1) すこ そだ がい まも
健やかな育ち^{そだ}を害^{がい}するものから守^{まも}られること。
- (2) プライバシーが守^{まも}られ、名誉^{めいよ}が傷^{きず}つけられないこと。
- (3) まわりの人^{ひと}に相談^{そうだん}ができ、必要^{ひつよう}な支援^{しえん}が受け^うられること。

じぶん そだ けんり
(自分らしく育つ権利)

だい じょう
第6条 こどもには、次のとおり「自分らしく育つ権利^{じぶん そだ けんり}」があります。

- (1) あそ やす まな ひつよう かんきょう ととの
遊び^{あそ}、休み^{やす}、学ぶ^{まな}ことができること。そのために必要^{ひつよう}な環境^{かんきょう}が整^{ととの}えられること。
- (2) しぜん ぶんか げいじゅつ ふ ゆた けいけん
自然^{しぜん}、文化^{ぶんか}、芸術^{げいじゅつ}、スポーツなどに触^ふれて豊かな経験^{ゆた けいけん}ができること。

(3) 自分らしさが認められ、自分の可能性が大切にされること。

(4) 自分に関することは、自分で決められること。

(意見を表し、参加する権利)

第7条 こどもには、次のとおり「自分の意見を表したり、様々な活動に参加する権利」があります。

(1) 自分の思いや考えなどを自分らしく表現し、人に伝えること。

(2) 自分の思いや考えなどを表すために必要な情報を得ること。

(3) 自分の思いや考えなどが大切にされ、人に受け止めてもらうこと。

(4) 自らの意思でさまざまな活動に参加すること。

(市の責務)

第8条 市は、こどもの権利が大切に守られるために、こども基本法（令和4年法律第77号）第10条第2項にもとづき小郡市こども計画に定める取組を行います。

2 市は、こども、保護者、市民等、学校等関係者の意見を聴いて、力を合わせてこどもの権利が守られるため体制づくりを行います。

3 市は、こどもの権利について、こども、保護者、市民等、学校等関係者に理解してもらうための意識づくりを行います。

4 市は、こどもがさまざまな活動に参加したり、こどもの思いや意見を聴くことができる機会づくりに努めます。

5 市は、地域社会全体でこどもや子育て家庭の孤立化を防止する地域づくりに努めます。

(保護者の役割)

第9条 保護者は、子どもにとって最も良いことを第一に考え、豊かな愛情を持って、
子どもが健やかに育つように努めます。

2 保護者は、必要に応じて市、市民等、学校等関係者などと力を合わせて、子どもの権利
を大切にするように努めます。

(市民等の役割)

第10条 市民等は、地域全体で子どもの健やかな育ちを支え、力を合わせて子どもの
権利が大切に守られるように努めます。

2 市民等は、子どもが健やかに育つことができる環境づくりに努めます。

3 市民等は、地域で子どもを見守り、子どもが安心して過ごすことができる居場所づくり
に努めます。

(学校等関係者の役割)

第11条 学校等関係者は、子どもが考え、遊び、学び、活動することができるように
支援し、子どもの権利が守られるように努めます。

2 学校等関係者は、子どもの健やかな育ちのために大切な役割を持っていることを理解し、
その育ちを支援する力を高めるように努めます。

3 学校等関係者は、保護者が家庭で安心して子育てができるよう必要な支援を行います。

(子どもの権利を守るための体制)

第12条 市は、子どもが不安や悩みを解消できるように相談に応じ、子どもが安心して

過ごすことができる環境づくりに努めます。

2 市は、こどもの権利が守られていない状態が生じたときは、保護者、市民等、学校等関係者と力を合わせて、少しでも早くこどもの権利が守られた状態へ回復できるように取り組む取組を行います。

(委任)

第13条 この条例に定めるもののほか必要なことは、市長が別に定めます。

附 則

この条例は、令和8年4月1日に公布し、令和8年7月1日から施行します。